

迎春



平成22年1月4日(月)発行 【隔月(年6回)発行】

発行部署 : 陸運事業本部ソリューション部
住所 : 東京都港区芝大門一丁目1番30号
電話番号 : 03-5408-4620
発行責任者 : 中島 英男
お問合せ窓口 : 古田 泰幸

新年あけましておめでとうございます。旧年中は皆様方の心温まるご支援を頂戴し誠にありがとうございました。本年も最新情報満載の「LIFE TIMES」をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

第85号

【目次】

1. 太陽光発電によるトラック冷房システム
2. 「日本の物流コスト」～2008年度物流コスト調査から～
3. 平成21年度 MCLC安全大会・防災訓練開催
4. 一貫単価表作成ツールについて
5. 衛星場所自慢 Part2 ～第17回 五井営業所～
6. 21世紀のエネルギーを考えるシンポジウム
7. 物流業界向け事例紹介セミナー



1. 太陽光発電によるトラック冷房システム

現在、三菱化学社OPV事業推進室では有機太陽電池の開発を進めており、薄膜で軽量という特長を活かすため、用途の一つとして車両への搭載を検討しています。具体的には太陽光発電によりキャビン内の空調機を稼働させ、エンジン負荷の軽減、CO2排出削減を図るというものです。

当社としても省エネ活動への取組みとして協力すべく、子会社の菱化ロジテック社と連携して、同社筑波営業所のウイング車2台に太陽電池や測定機器等を搭載し、昨年8月より運行テストを実施しています(右下写真)。本テストは国土交通省にも報告をしており、10月22日には同省正面玄関前にて公開を行い、馬淵・辻元両副大臣には実際に車両に搭乗して頂きました。さらには菱化ロジテック社の乗務員がNHKの取材を受け、その模様は当日夜のニュースでも放映されました。その後も筑波営業所が朝のニュースで生中継されるなど、注目を集めております。本テストは省エネ活動として期待されるため、当社としても三菱化学社、菱化ロジテック社と一体となって、一刻も早い実用化に向けさらに協力していく所存です。



2. 「日本の物流コスト」～2008年度物流コスト調査から～

社団法人日本ロジスティクスシステム協会（JILS）が毎年取り纏めている「物流コスト調査報告書」2008年度版の要旨について一部ご紹介致します。

①売上高物流コスト比率…右記グラフを参照願います

全業種における売上高物流コスト比率は**4.87%**。

当該比率は、2000年以降全般的には減少傾向にありますが、昨年度は前年と比べ僅かに上昇しています。

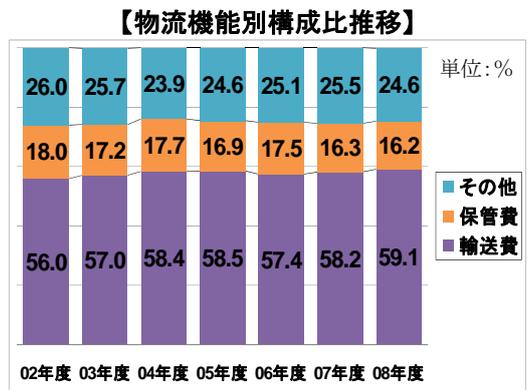
また、物流機能別構成比を見ると、保管費の減少傾向が続いているのが解ります。



②物流コスト削減策

物流コスト削減策39項目についてアンケート調査が行われた結果、回答の多かった項目の上位3位は、「積載率の向上」「在庫水準の削減」「保管の効率化」の順になっていました。

①②の調査結果より、2008年度の傾向として、在庫削減による保管費の抑制に目を向けている会社が多くなっている事が解ります。



3. 平成21年度 MCLC安全大会・防災訓練開催

昨年11月17日、「平成21年度全社ゼロ災・QA大会」を鹿島支社で開催しました。

三菱化学社鹿島事業所RC推進部GMを来賓に迎え、白石社長以下当社の幹部、連合会会長、鹿島支社、協力会社を含め多数の方が参加した非常に充実した大会となりました。

今大会の特徴は①発表者以外に、他拠点のRC活動(優良事例)を自拠点へ水平展開し、活動をより活発に行うべく、各拠点でその推進担当を決め代表者として参加

②三菱ケミカルホールディングスグループ以外の物流業務を行っている営業所からの活動報告の2点になり、今まで以上に積極的な質問があり今後の取り組みに活かす議論ができました。

発表事例を各拠点に展開し、ゼロ災達成に向けて全社一丸となって取り組むことを誓い大会は終了しました。

また、防災意識を高めるべく、右下図の通り、9～11月にかけて各支社・油槽所にて総合防災訓練として、「ローリー積荷漏洩事故想定訓練」「基本規律訓練」「屋外消火栓操法訓練」等、本番さながらの訓練を実施しました。



防災訓練実施日・拠点

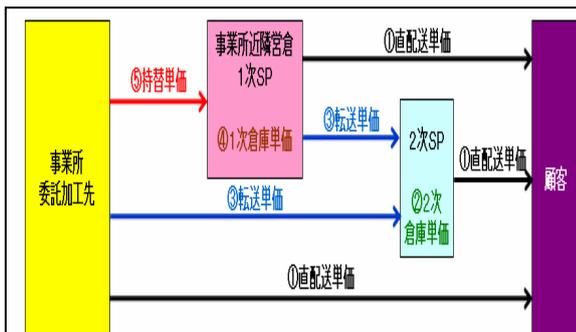
9月11日	四国支社
9月11日	川崎油槽所
9月18日	尼崎油槽所
10月06日	中国支社
10月09日	九州支社
10月16日	中部支社
11月11日	筑波支店

4. 一貫単価表作成ツールについて

今回は、一貫単価表作成ツールについてご紹介いたします。

このツールは、出荷実績(輸配送及び入出庫保管実績データ)を基に、品名毎に事業所～顧客までのあらゆる輸送ルート(営業倉庫/S Pでの入出庫・保管含む)毎の単価を試算し、現状の発地・顧客別の合計単価を以下の手順で算出するものです。

- 1) <図1>の通り、物流機能別(①～⑤)に出荷実績の数量と金額から単価を算出。
- 2) 生産場所・品目・荷姿毎に顧客までのルート(S P経由等)を条件付け。
- 3) ①～⑤の単価を積み上げ、一貫単価を算出。金額は「単価計」×「数量」で算出。



<図1>一貫単価表作成ツールのイメージ

品名	数量	一貫単価								単価計	金額	
		持替	1次SP		2次SP		直配送					
単位名		数量	入庫	保管	出庫	転送	入庫	保管	出庫	数量		
キログラ	40200									1015	10.1	408,015
キログラ	21,000									11.60	11.6	243,566
キログラ	4,900									12.37	12.4	59,387
キログラ	34,500									9.05	9.0	312,171
キログラ	236,900									7.67	7.7	1,819,556
kg	0					17.65	0.80	0.00	0.84	0.00	19.3	0
kg	2,400					17.65	0.80	0.00	0.84	8.30	27.6	66,215
kg	27,000					17.65	0.80	0.00	0.84	7.17	26.5	714,311
kg	47,350					9.88	0.82	9.14	0.92	6.41	27.3	1,291,661
kg	10,000	3.05	0.00	0.00	5.41					26.57	35.0	350,288
kg	24,800	3.05	0.00	0.00	5.41					19.88	28.3	702,765
kg	4,480	3.05	0.00	0.00	5.41					19.82	28.3	126,974
kg	1,200	3.05	0.00	0.00	5.41					31.44	38.9	47,870
kg	12,500	3.05	0.00	0.00	5.41					20.76	29.2	365,206

<図2>一貫単価表事例(表の一部)

更に、この一貫単価表を、以下の様に活用し、荷主に対しての効率化案の提案ができます。

- 1) 単価が大きい順に顧客の数量と金額のグラフを作成しターゲットを選定。
- 2) 販売単価と販売金額データを併せ、顧客毎の損益グラフを作成し不採算顧客を選定。
- 3) 単一の顧客に複数輸送ルートがある場合、最安価のルートの輸送対応化。

5. 衛星場所自慢 Part2 ～第17回 五井営業所～

五井営業所は、N社の物流入札の結果、新規業務を獲得。平成16年11月より営業を開始しました。荷主の工場周辺倉庫として樹脂製品の入出庫保管業務に加え、東京営業部の市原地区の輸送業務窓口としての機能も担っています。

当所の位置する千葉県市原市は、房総半島中西部を流れる養老川流域に広がり、古代から上総国の中心地として栄えてきました。現在、千葉県の市町村では最大の面積を誇っています。

北部は東京湾を望み、臨海工業地帯として石化プラントを含め、多数の工場が稼動しています。一方、中南部は田園地帯が広がり、稲作や梨、無花果等の果樹栽培が盛んな地域です。昔ながらののどかな風景が今なお残されており、TVドラマの撮影が行われることも度々あります。

観光では、梨狩り、養老溪谷の温泉や紅葉狩、高滝湖のワカサギ釣などが楽しめます。「市原ぞうの国」(映画「星になった少年」の原作者が園長をされています)では、象の背中に乗る体験も可能です。

また緩やかな丘陵地にはゴルフ場が多数ひしめいています。日本一の密集度だそうで、ゴルフ銀座と呼ばれる程です。

日常を離れて癒しに、観光に、ゴルフに、皆様一度は市原に足を運ばれてみてはいかがでしょうか。



養老溪谷の紅葉



高滝湖とワカサギ

6. 21世紀のエネルギーを考えるシンポジウム(11月9日開催)

東京国際フォーラムにて、「これからの家庭のエネルギー・自動車のエネルギーを考える」と題したシンポジウムが開催されました。日本におけるCO2の排出状況を部門別に見ると、産業部門≒45%、運輸・家庭部門≒35%、業務・その他部門≒20% となっていますが、産業部門の排出量はほぼ横ばいで推移しており、今後の削減余地は少ないと考えられています。そこで今回、次の対象として「家庭及び自動車のエネルギー」削減について、下記の通り動向や事例紹介がありました。

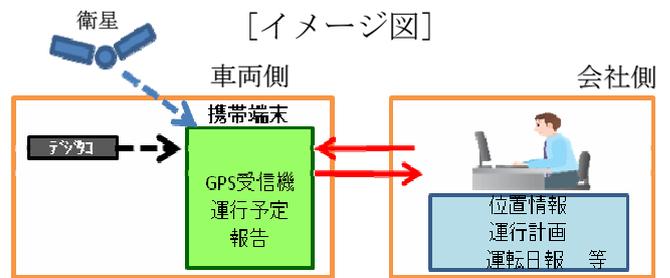
1. 家庭用エネルギー関係
「太陽光発電」「家庭用燃料電池コージェネレーションシステム(統一商品名「エネファーム」)の本格販売開始」
2. 自動車エネルギー関係
「ハイブリッド車」「電気自動車」「燃料電池車」
3. 実証実験
「福岡水素タウン」「北九州水素タウン」「群馬太田市太陽光発電住宅」「急速充電器」等

世界的にはCO2排出量が減っていない事実や温室効果ガスを25%削減する旨の鳩山首相の表明に対するコスト負担の問題など解決すべき点もありますが、シンポジウムでは「環境技術は将来世界で必要となる技術であり、ビジネスチャンスと捉えるべき」という前向きな意見もありました。何年か後の将来は**バラ色**or**灰色**??

7. 物流業界向け事例紹介セミナー(12月3日開催)

「物流業界向け事例紹介セミナー」と称し、アクティブRFID・GPSを用いた管理コスト削減の活用事例の紹介がありました。現在、様々な分野でRFID・GPSは活用され、管理面、セキュリティ面での強化に繋がっています。今回、医療・車両等幅広い事例紹介がありましたが、中でも「統合版運行管理システム」は、GPS・デジタコ・基幹システムを連携させ総合的に管理強化、効率化を図るというもので大変興味深いものでした。車両にGPS機を搭載した携帯端末を設置し、タコグラフと連携。更に会社側の基幹システムとの連携により、運行予定を送信。乗務員は各種ステータス情報(積込終了、納入完了等)を入力し基幹システムへ報告。会社側はそれらの情報から各種帳票類(運転日報等)を出力し管理強化及び効率化を図ったというものでした。

RFID・GPSともにまだまだ進化していきそうであり今後も注視して行きたいと考えています。



芝のそよ風

ソリューション部 工藤さつき

- ◆新年おめでとうございます。皆様、一年の始まりをどの様にお過ごしになりましたか。初日の出はご覧になったでしょうか。太陽光を浴びることで、私達は日々、体内時計を調整しているそうですから、初日の出を見ることは心身ともに新しい一年を刻み始める良いきっかけなのかもしれません。
- ◆さて太陽と言えば、本号では太陽光発電システムを搭載したトラックについてご紹介しました。太陽光や風力など自然エネルギーはますます注目され、特に最近では自宅で太陽光発電をしている方も増えているそうです。また、持ち運べて個人で簡単に太陽光充電できるソーラーパネルなども販売されているそうです。「トラック」に、「住宅」に、そして持ち運んで「どこでも」、プチ発電所がどんどん増えそうです。